

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	灰谷謙二	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士（文学）	職位	教授
専門分野	日本語学（現代語）		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本語学概論、日本語学講義Ⅱ、日本語学講義Ⅳ、現代語学専門演習a、現代語学専門演習b、卒業論文（構想・準備）
大学院	日本語学特講、日本語学演習、日本音律特論、日本文学・言語文化総論、研究指導（論文指導）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）『瀬戸内海言語図巻』の追跡調査による音声言語地図の作成と言語変容の研究 基盤研究B 研究代表者 友定賢治 研究分担者 2017~2021	
（2）岡山・福山地区の社会言語学的調査研究（ND清心尾崎教授との共同研究）	
（3）国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」参画	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R2 〈論文〉福山市民の言語使用と言語意識に関する調査報告『清心語文』（22）, 2021.2 （ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会）共著	
H30 〈論文〉海上ネットワークにおける言語伝播—半海半陸の環境がもたらす伝播のメカニズム— 『方言の研究4』特集方言研究のネットワーク 日本方言研究会編（共著）	
H28以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化 『柳田方言学の現代的意義 あいさつ表現と方言形成論』ひつじ書房（H26/7）	
（2）〈論文〉小津安二郎『東京物語』における尾道方言使用の意味 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号 2013	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H29・H30・R1	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本語学会・日本方言研究会世話人（編集委員会）・日本音声学会・広島大学国語国文学会（学会運営委員）	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）りじょう福祉会りじょう保育園理事	
（2）広島女学院大学非常勤講師	
（3）安田女子大学博士論文審査委員	